



1 気象経過及び生育状況

(1) 気象経過

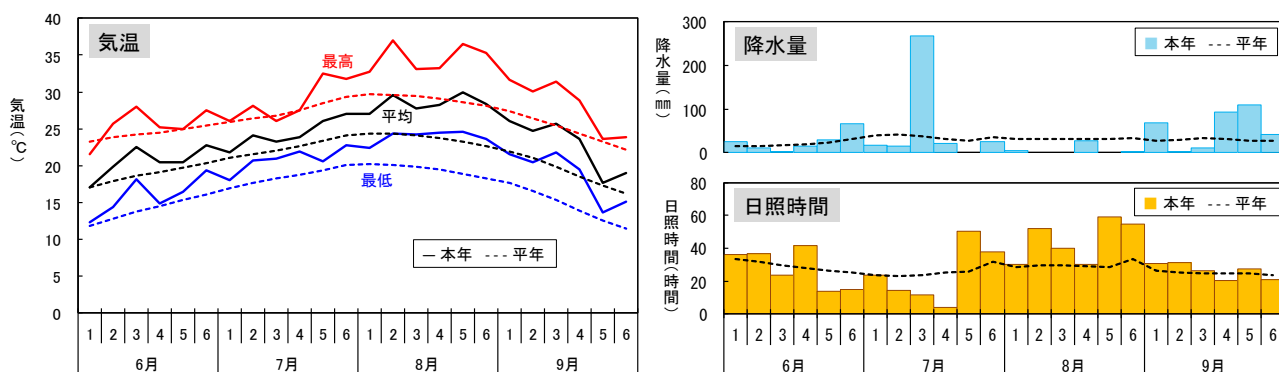


図1 半月ごとの気象経過図（アメダス鷹巣）

○生育期間を通して、気温は平年より高く推移しました。

○7月3半月は記録的な大雨となりましたが、8月の降水量は平年より少なくなりました。

○7月4半月までの日照時間は平年より少なく推移しましたが、それ以降は多く推移しました。

(2) 9月末時点での生育状況

○主茎長は50.8 cm(平年比89%)、葉数は12.7葉(平年差+0.3葉)、分枝数は4.9本/株(平年差+1.6本/株)となっています。

○莢数は482個/m²(図2)で平年並となっています(平年比96%)。

○現在の生育ステージは落葉期～成熟期となっており、概ね平年並に進んでいます。

○一部でホソヘリカメムシ等の害虫の発生が確認されています。

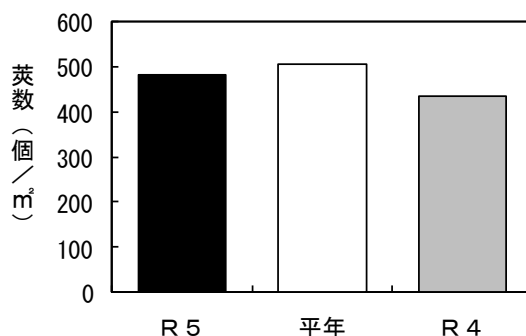


図2 9月末の莢数

※平年は過去7か年の平均値を示す。

2 今後の管理

(1) ほ場管理

○9月以降、降雨の日が多く、ほ場に滞水が見られます。登熟を均一に進め、収穫作業を円滑に行うため、排水に努めてください。

○刈り取り前に、大型雑草や青立ち株を確実に抜き取り、汚損粒の発生防止に努めます。

(2) 刈り取りの目安(図3)

○コンバインでの刈り取り目安は、茎水分が50%以下の頃です。(茎の色が褐色～黒色、ポキッと折れる程度)

○本年も倒伏が各地で見られるため、汚損粒の発生が心配される場合は、作業速度やこぎ胴の回転数を抑えるなどの低減対策により品質低下を防止します。



茎の水分	70%以上	60%	50%	40%以下
茎の色	緑～黄色	褐色	黒み	灰色・白色まだら

図3 茎の水分と茎の色の目安

* 内容についてのお問い合わせは、農業振興普及課(Tel 0186-62-1835)へご連絡下さい。